

令和7年上半期分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年上半期分について、輸出は「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが減少したものの、「家庭用電気機器」、「原動機」、「半導体等製造装置」などが増加したことから対前年同期比9.0%の増加となった。また、輸入は「医薬品」「航空機類」などが減少したものの、「原動機」、「通信機」、「有機化合物」などが増加したことから、同11.5%の増加となった。

その結果、差引額は390億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	6,684億円	+9.0%	7,074億円	+11.5%	▲390億円	+81.9%
3期連続の増加			8期連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 家庭用電気機器	226億円	+61.9%	増加品目	(1) 原動機	1,463億円	+23.9%		
		(2) 原動機	405億円	+18.2%		(2) 通信機	244億円	+115.7%		
		(3) 半導体等製造装置	177億円	+36.1%		(3) 有機化合物	262億円	+66.2%		
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	687億円	▲4.4%	輸入	(1) 医薬品	425億円	▲41.2%		
		(2) 電気計測機器	352億円	▲5.6%		(2) 航空機類	288億円	▲8.7%		
		(3) 科学光学機器	239億円	▲6.7%		(3) 魚介類及び同調製品	19億円	▲58.9%		
主要地域 増減					主要地域 増減		主要地域 増減			
アジア、アメリカが増加、EUは減少					アジア、アメリカが増加、EUは減少		アジア、アメリカが増加、EUは減少			

（参考）ドルレートは、149.47円（前年同期比0.9%、1.42円の円高）であった。

（注）令和7年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。